

令和2年度 第1回甲斐市総合計画審議会

日 時 令和2年8月11日(火)
午前10時30分～11時45分
場 所 本館3階大会議室
出席委員 15名/23名
欠席委員 進藤委員 今村委員
中井委員 千野委員
江口委員 高柳委員
石川委員 一條委員

(事務局)

本日は公私共にお忙しい中、令和2年度第1回甲斐市総合計画審議会にご参集いただきまして、ありがとうございます。会議に入る前に、欠席委員のご報告をさせていただきます。

社会福祉協議会会長 進藤一徳委員、農業委員会会長 今村正城委員、行政改革推進委員会会長 中井道夫委員、山梨労働局甲府公共職業安定所産業雇用情報官 千野江津子委員、株式会社日本政策金融公庫甲府支店長 江口朋之委員、一般公募 高柳 学委員、一般公募 石川宏美委員、一般公募 一條宣好委員、におかれましては、本日所用のため欠席でございます。

また、国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所長の安谷覚委員におかれましては、本年8月の人事異動に伴いまして、新たに濱谷健太委員が着任となっております。本日は代理としまして、計画課専門官 高木様にご出席をいただいております。なお、人事異動に伴います委員の変更でありますので、委嘱式は行わず、市の方から委嘱状を改めてお渡ししたいと思っておりますのでご理解をお願いいたします。

以上、8名の方が欠席であります。報告を終わります。

1 開会

それでは、ただいまから、令和2年度第1回甲斐市総合計画審議会を開会いたします。

2 市長あいさつ

(市長)

おはようございます。本日はお忙しいところ、またお暑い中ご参集ください

ましてありがとうございます。日頃から市政にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。特に最近、新型コロナウイルス感染症拡大について、混とんとした状況でありまして、山梨県でも広がりを見せています。甲斐市では落ち着いておりますが、早く収束することを願うものであります。

さて、委員の皆様におかれましては、平成 30 年度から翌年度にかけて、合計 7 回におよぶ審議会の中で、第 2 次甲斐市総合計画後期基本計画及び第 2 期甲斐市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について、調査・審議をいただきました。おかげをもちまして、今年度から両計画のスタートができましたことを重ねて感謝を申し上げます。

今年度からは、業務を継続的に改善していくため、PDCA サイクルに基づき両計画の進捗状況の管理をお願いすることとなります。本日の審議会では、昨年度最終年度を迎えた、第 2 次甲斐市総合計画前期基本計画と第 1 期甲斐市まち・ひと・しごと創生総合戦略の成果指標等の進捗状況につきまして、事務局から説明をさせていただきます。委員の皆様におかれましては、公私ともに何かとお忙しいとは存じますが、これまで積み重ねて来られました知識・経験を活かしまして、なおご尽力を賜りますようお願いいたします。

山梨県緑化センター跡地活用事業については、山梨県にランドマークとなるものが少ないということで取り組んできましたが、新型コロナウイルスの影響もある中で白紙撤回するという方向できております。今後、委員の皆様にも提案や意見をいただきながら、より良い審議会にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

3 会長あいさつ

(会長)

委員の皆様、関係者の皆様、本日はお忙しい中、また特にお暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。今、日本全体に新型コロナウイルスが拡大し、不安が収束できていない状況であります。大きな問題として、ワクチンが来年にできるのか、或いはいつ収束していくのかなど、先が見えていないことが、経済活動や我々の生活を大きく制約し影響を与えているように思います。

その中で、コロナだからこそ見えてきたものもございまして、日本社会が国際的に遅れておりました、デジタル化が一気に進んできていると思っております。例えば、「リモートワーク」「オンライン授業」「オンライン診療」「キャッシュレス」などを、やって行かざるを得ないという状況になっております。コロナが来年くらいには収まることを期待しておりますが、デジタル化を地域社会の中に取り込んでいく必要があると思っております。デジタル化でメリットを享受できない方々に対しても啓蒙や啓発をしていき、地域としてデジタル化の便利さを享

受していく必要があると感じております。

本日も活発な議論をよろしく申し上げます。

4 案件

(会長)

次に、次第の案件に入らせていただきます。案件1の前に事務局から報告事項がございますのでよろしく申し上げます。

■市長公務のため途中退席

■事務局から山梨県緑化センター跡地活用事業の経過について報告

(会長)

委員の皆様からご質問等はございますでしょうか。

(委員)

第2次総合計画後期基本計画の中に記載があるがそのままにするのか。

(事務局)

現計画ではこのままにしておくが、今後見直し等が必要な場合において訂正をしていきたいと考えている。

(委員)

現状として跡地の購入は終わっているのか。

(事務局)

跡地活用は続けていくということで、今年度用地交渉を進め、まずは山梨県用地から購入し、民間用地については来年度予算を計上する中で取得していく流れとなる。

(会長)

よろしければ質疑を終了します。

それでは、案件1、第2次甲斐市総合計画前期基本計画成果指標進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

■資料に基づき事務局から説明

(会長)

委員の皆様からご質問はございますでしょうか。

(委員)

表の見せ方として、目標値の達成・未達成については、目標値があった方がわかりやすいのではないかと感じた。また、全体の達成率が37%ということで、どのように評価して現状分析しているかお聞きしたい。

(事務局)

目標値については、資料1において基本目標毎に分け、施策毎に設定している目標値が記載されているので、成果については表に基づき確認をいただきたい。また、先頭ページの数値は、基本目標毎の指標に対して、達成・未達成の件数を記載している。

達成率については、前期の計画期間が、総合戦略に合わせ終期を1年前倒して令和元年度としたことから、37%と低い状況となっている。

(委員)

4年間の総括を拝見すると、コロナの影響により減少したという評価が多い。令和2年度以降の取り組みの中で、ウィズコロナとしての取り組み方、特にイベントなどはどのように対応し増加に努めていくのか。

(事務局)

計画の策定については12月には概ね方向性が決まっていたが、新型コロナウイルス感染症がこのように拡大することは想定していなかった。イベントなどの実行スタイルが変化している中で、今後どのように対応していくのか現在各部署で事務を進めている。先ほどの緑化センター跡地活用も含め、見直しが必要なものについては今後内容を精査し、審議会へ説明していきたい。

(会長)

よろしければ、案件1の質疑を終了します。

次に、案件2、甲斐市まち・ひと・しごと創生総合戦略成果目標（KPI）進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

■資料に基づき事務局から説明

(会長)

委員の皆様からご質問等はございますでしょうか。

(委員)

25 番のチャイルドシート利用率について、担当課は子育て支援課ではなく市民活動支援課になるのか。

(事務局)

市民活動支援課でチャイルドシートの貸出を行っているため、担当課は市民活動支援課となっている。

(会長)

よろしければ、案件2の質疑を終了いたします。本日の案件は以上となります。委員の皆様には貴重なご意見をありがとうございました。

それでは、会議の進行を事務局にお返しします。皆様、ご協力ありがとうございました。

5 その他

(事務局)

次にその他ですが、委員の皆さんから何かございますでしょうか。

よろしければ、事務局から事務連絡をさせていただきます。次回の第2回審議会につきましては、秋口あたりの開催を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。先ほどのご意見を踏まえた中での検討を行っていきたいと考えております。

よろしければ、以上を持ちまして、令和2年度第1回甲斐市総合計画審議会を終了します。

以上